Okitama Regional Board of Education Okitama Regional Board of Education Okitama Regional Board of Education

情報おきたま

置賜教育事務所
指導課だより
令和８年１月　No.135

Okitama Regional Board of Education Okitama Regional Board of Education Okitama Regional Board of Education

第２回　置賜地区いじめ・不登校防止連絡協議会

愛着障害と発達障害の理解と具体的な対応について

和歌山大学　教育学部　教授　米澤　好史　先生

今年度、第２回置賜地区いじめ・不登校防止連絡協議会をリアルタイムオンラインにて実施いたしました。「愛着障害と発達障害の理解と具体的な対応について～子ども達の特性の理解とその具体的な支援の在り方について～」の演題でご講演をいただきました。

研修では、愛着障害に関する内容を説明いただきました。愛着障害とは、後天性の「感情」の障害のため、発達障害とは支援の仕方が異なります。しかし、表出される姿が似ているため、判断は難しいのです。

愛着障害は「保護者の育て方や関わり方に起因するだけの問題ではない「こと、愛着障害の支援には「温かな人間関係を基盤とした愛着の基地を形成すること」や「共に活動をしていく中で感情を共有すること」が非常に重要であることを学ばせていただきました。特に人間関係を構築するときには、親以外、教師でも愛着の基地になりうるとのことでした。

改めて、「目の前にいる子どもたちを的確に捉え、いかにチーム学校で支援をしていくか。」を考えていかねばならないと感じた一日となりました。

以下に、ご参加いただいた先生方の感想を紹介させていただきます。

※山形県では「障がい」と表記していますが、講師資料に合わせて「障害」と表記しています。

＊ご参加いただいた先生方の感想から　（抜粋）

愛着障害についての理解が深まり、支援の仕方をより詳しく知ることができました。低学年を担任していた時に子どもたちの行動をみて「ADHD かな」と思うことが多くあったのですが、お話をお聞きして「認められたい」との思いからの行動だったのかもしれないと振り返ることができました。子どもの行動にはすべて理由と原因があり、それを理解しながら愛着形成・修復の支援をしていく必要があることを学びました。（小学校教諭）

注意しても同じことを何度も繰り返して、やめようとしない子どもに対して、その都度指導を繰り返していたことがありましたが、その児童の行動は愛着障害からの不適切なコーピングであったのではないかと思いました。その行動で気分を紛らわせていたのかもしれないと考えると、支援の仕方は違う方法があったのかもしれないと思いました。私たち教員も行動をただただ注意するだけではなく、子どもが本当に望んでいることは何なのかを理解し、適切に支援をしていく必要があると感じました。（小学校教諭）

本校の課題解決の糸口をつかめればと考え、職員研修として参加しました。愛着障害について全職員で確認できたことが今後の具体的な対応を考える際に生きてくると考えます。適切な支援方法がすぐには見つからないかもしれませんし、即効性を期待しすぎるあまり支援を続けることに苦しさを感じる担任が出てくることも考えられます。チームで支援体制を構築することや家庭や幼児施設との連携の仕組みを作ることが、管理職の私の役目であると改めて感じました。（管理職）

このたび、米澤好史先生が令和８年１月５日にご逝去されました。ご生前のご厚情に感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

令和7年度　小・中学校初任者研修

～初任者の1年を振り返って～

◆令和7年4月1日（火）
「山形県公立学校新規採用教職員辞令交付式」

新規採用教員としての初めての辞令を受け、置賜管内45名の初任者が教員としてのスタートを切りました。凜とした表情、佇まい、まっすぐ前を見つめる姿勢に、教師として子どもたちのより良い将来のために働く覚悟を感じました。

◆令和7年5月23日（金）
「第1回　教育事務所における研修　授業研究会」

教職1年目をともに歩んでいく仲間と「偏愛マップ」を使って交流しました。本当に好きなものは何か、改めて自分を見つめ直すことで、自己分析も深まったようです。互いの好きなことが見えてくると、心の距離も縮まって、やさしい笑顔で聴き合う空間になっていました。

◆令和7年8月7日（木）・8日（金）「体験活動研修」
米沢市内各所、飯豊少年自然の家を会場に行われた2日間の体験活動研修。研修先を自己選択・自己決定し、初任者同士語らいながら、自ら学びをつくっていく研修となりました。

◆令和7年9月11日（木）、10月9日（木）、11月13日（木）「第2・3・4回　授業研究会」
子どもの豊かな学びの実現のために、効果的な指示・発問、確かな児童生徒理解、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、といったテーマをもとに研修を進めました。子どもたちのために授業力を高めようと熱心に協議し、学び深めようとする先生方の姿は、とても輝いて見えました。授業公開してくださった先生方や、これまで初任者を校内で支えてくださった先生方に改めて御礼申し上げます。

初任者の先生方がそれぞれの目指す教師像に向かって踏み出す一歩をこれからも応援しています。